

僕と私の ドビュッシー



一章 図書室にて

この脚立が
使えるかもね

ちよつとこれに登って
通気口を調べてみるよ

うわ…登ってみると
結構高いよ
ちよつと…怖いかも

代わろうか？

ううん…
大丈夫だけど…



…って
何を考えてるんだ
僕は…っ！



ん…!?
あれって
もしかして…



それにしても
赤松さんって
カワイイよな…
胸も大きいし…



赤松さんの
パンツ…!!



あつ…ごめん!

!?



ところで…最原くん
パンツとか
見えてないよね?



きゃっ!!

ごめんって!
もう…っ

ラッ



ごめんね
ドジ
踏んじやって…



いたた…
大丈夫？
最原くん



あの
最原くんが…
…えっ…!!

…っ!?



えっ!?



…ちよっと…
もお…っ!
最原くん…!!

い…いや…!!
これは…
その…っ!





ここまで
大きくなったら
一回出して
こないとな…

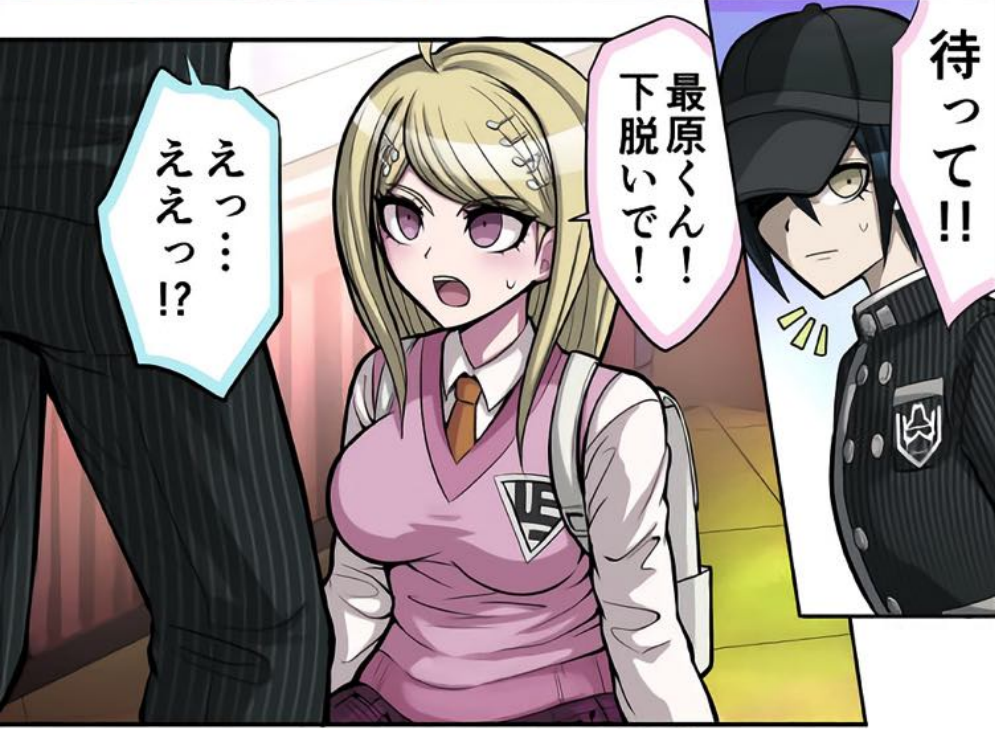
ちょっと
待ってて

…



でも…こんな時に…
ほんと最低だよ

…



待って!!

最原くん!
下脱いで!

えっ…
ええっ!?



当事者として責任を
感じちゃうんだよね



私も手伝うよ…
最原くんの…

い…いやいや!
ちょっと待って!!

それはダメだよ
さすがに…

赤松さんにそんな事
させるわけには
いかないよ!!

いいんだよ…

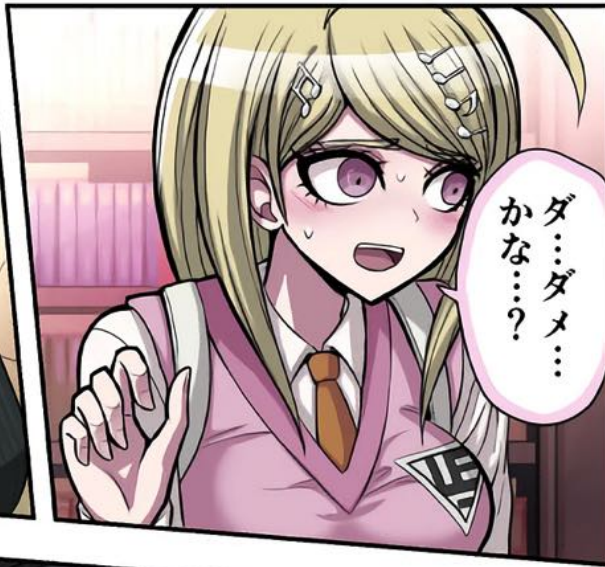
私にも非がある
ワケだしさ…



それに忘れたの？
私は超高校級の
ピアニストなんだよ？

指先の
テクニクには
自信が
あるんだから！

僕はピアノじゃ
ないんだけどなあ…



ダ…ダメ…
かな…？



もちろん
最原くんが
いいなら…
なんだけど…



イヤ
だったら…
途中で止めて
いいからね…

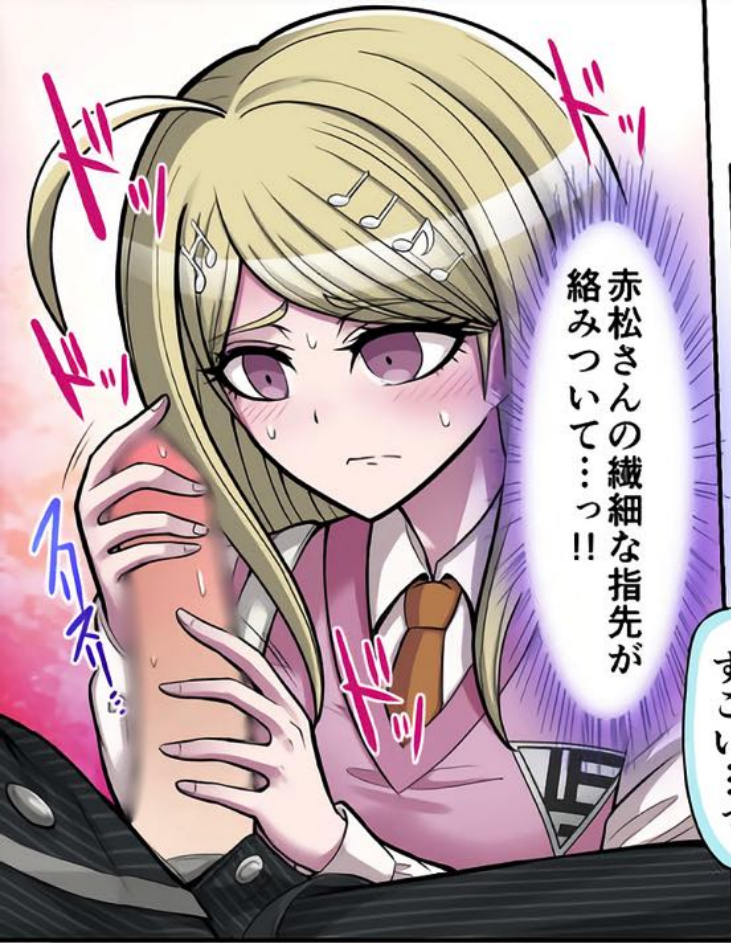


ううん、平気…



きやつ!!

む…無理しなくて
いいよ…



赤松さんの繊細な指先が絡みついて…っ!!



えっ…!?

う…っ
す…っ…っ



こ…
こうかな…?



んく…っ!

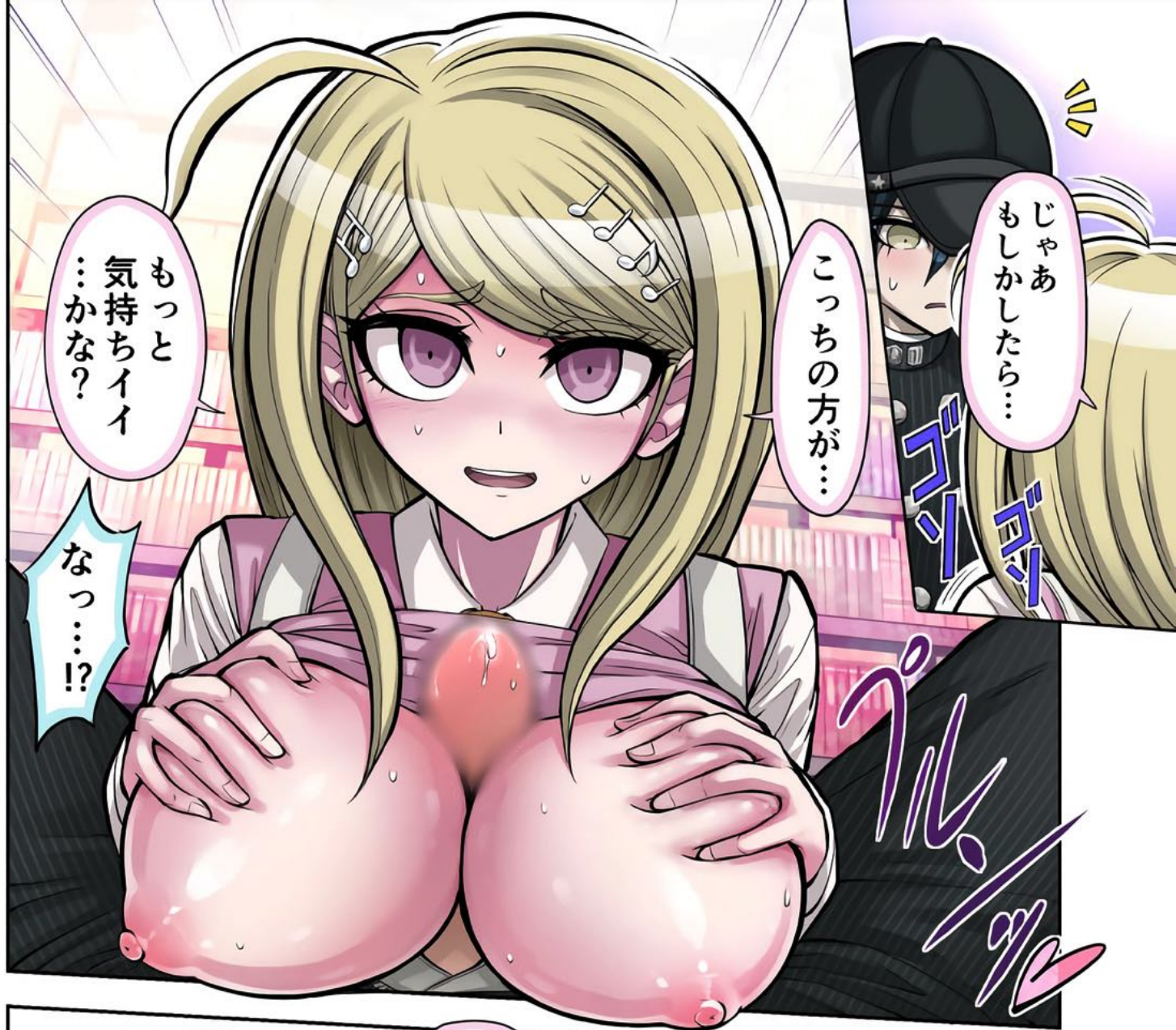
あっ…
んんっ…!!



快感の波に合わせて…
リズムを刻むように…っ

う…うああ…っ!!

ふふ…
最原くん
カワイイね…
女の子みたい…



もっと
気持ちいい
…かな?

こっちの方が…

じゃあ
もしかしたら…

なっ…!?

ブル
ブル



男の子って…
こうゆう風にされるのが
気持ちいいんでしょ?

あ…っ!



赤松さん?! いいよ!!
そこまでしなくて!!

もっと聴きたく
なっちゃって…

だって…
最原くんの
カワイイ声…



どんも...

ごっ!ごめん!!
赤松さん!!

いいよ
気にしないで

私が好きで
した事だから...

おっ...

...

どうして...
僕なんかここまで
してくれたの?

...最原くんなら
いいかなって...

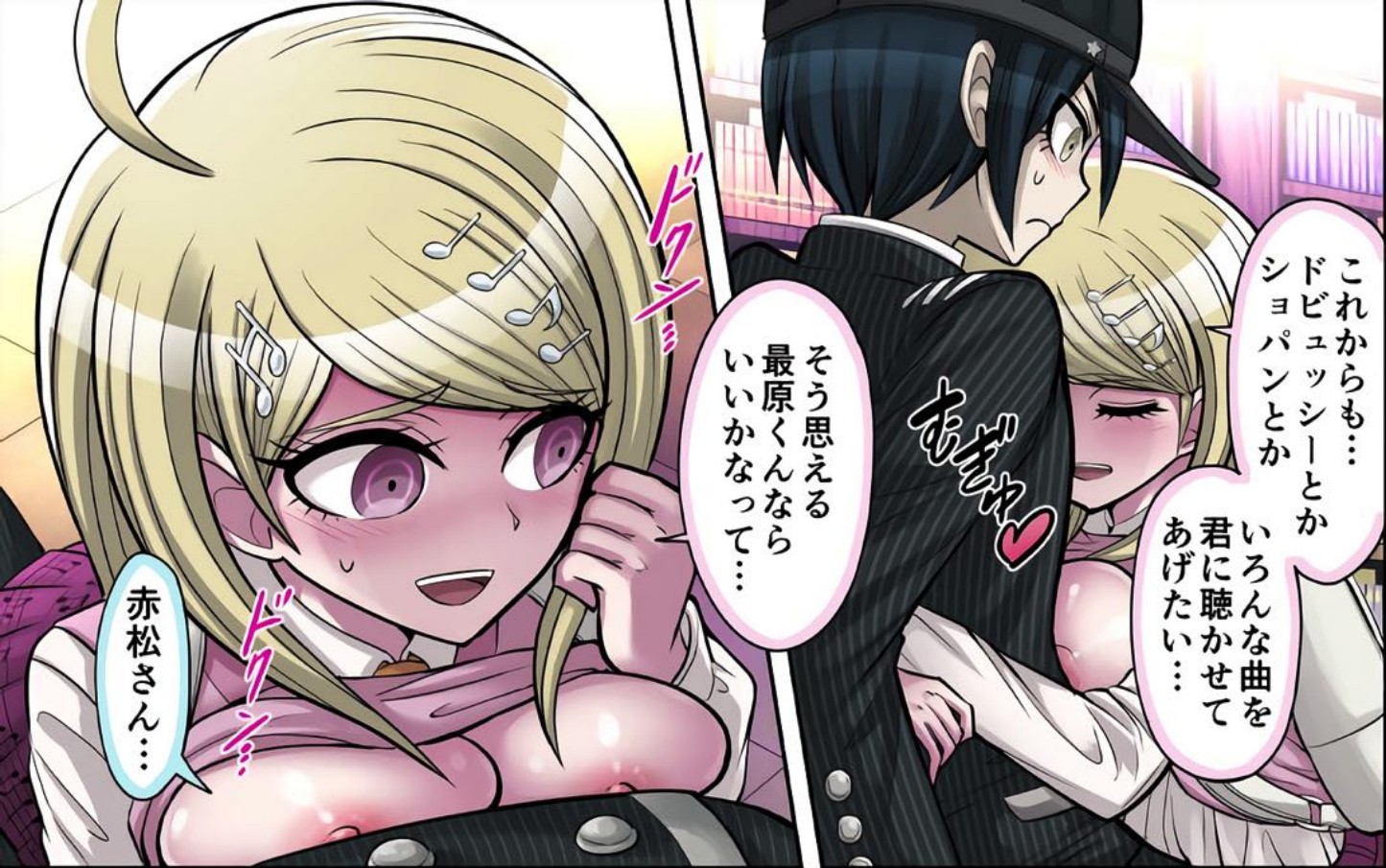
えっ...?

...なんだろう

ス...

コロシアイなんか
させられてる
こんな状況なのにさ

私
最原くんのコト
信じてるんだよね



これからも…
ドビュッシーとか
シヨパンとか

いろんな曲を
君に聴かせて
あげたい…

そう思える
最原くんなら
いいかなって…

あざや♥

赤松さん…

ドクニニニ



たぶん私いま…

最原くん
と同じコト
考えてると
思う…

ギョッ

ドクニニニ

ねえ…
してくれる？

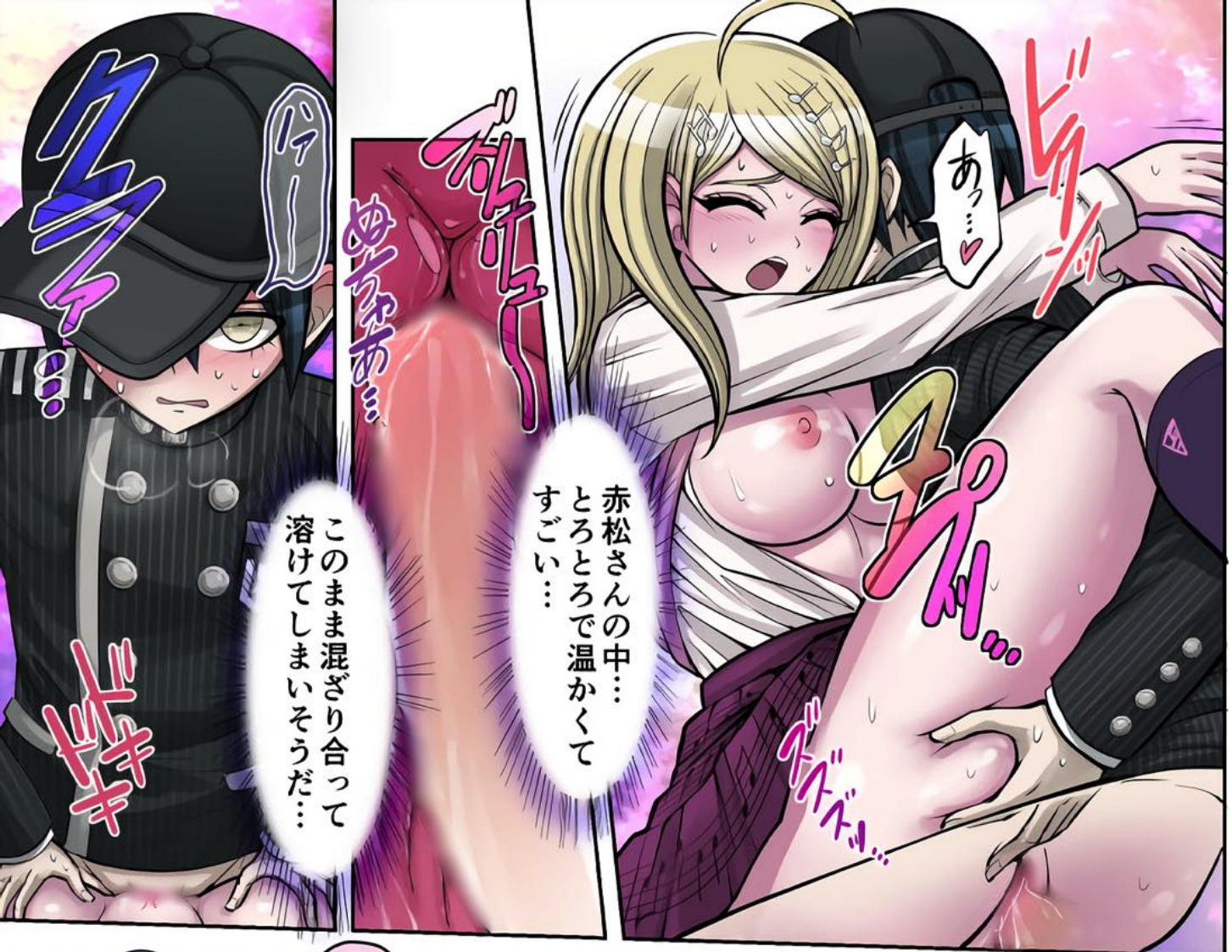
いま私が最原くん
にしてほしいと
思っていること…

ドクニニニ

ドクニニニ

ドクニニニ





このまま混ざり合って
溶けてしまいたいそうだ...

赤松さんの中...
とろとろで温かくて
すごい...

クワッ

ドキドキ

めっちゃあ...

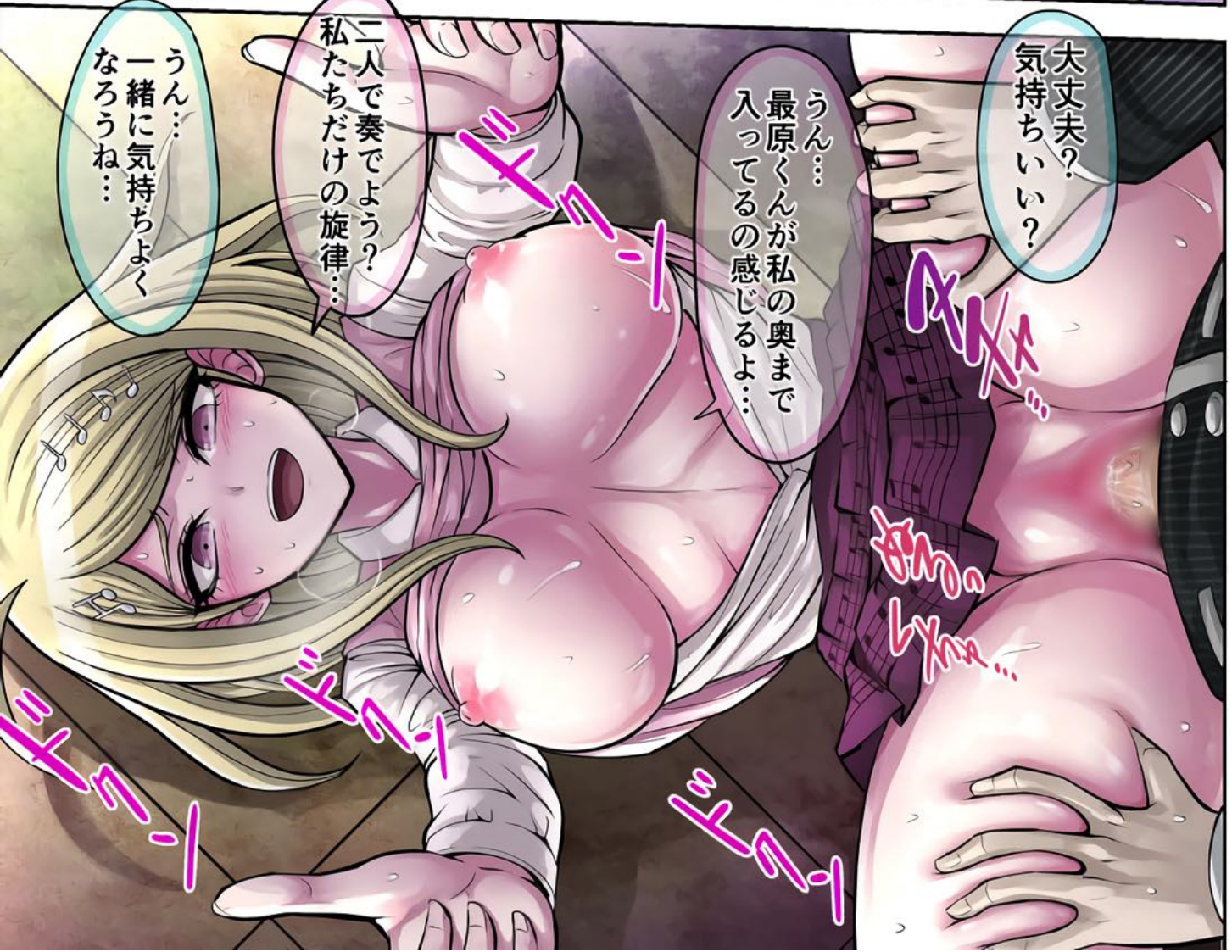
ボムッ

アッ...

グググ...

ドキ

あ...



大丈夫？
気持ちいい？

うん...
最原くんが私の奥まで
入ってるの感じるよ...

二人で奏でよう？
私たちだけの旋律...

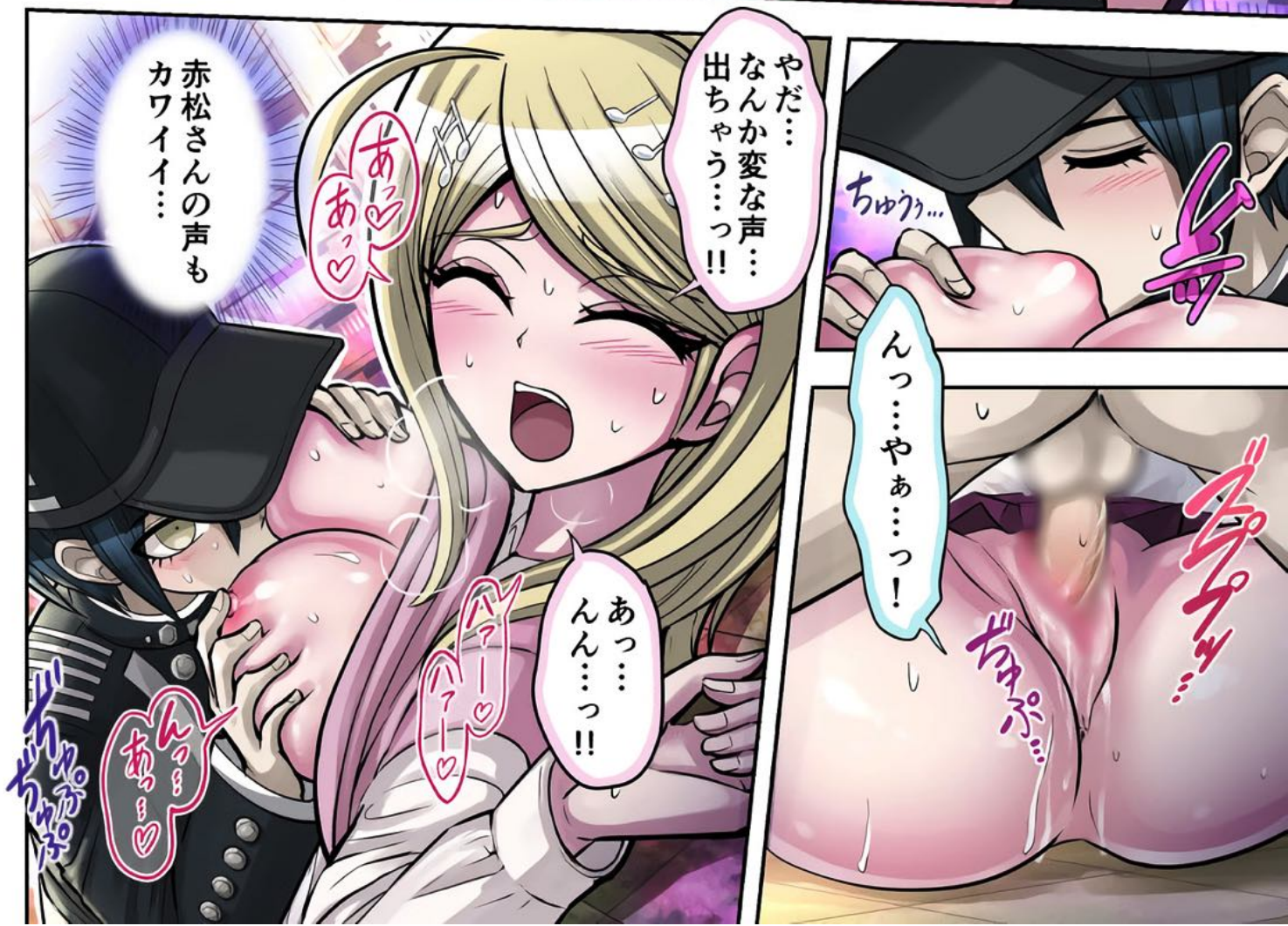
うん...
一緒に気持ちよく
なろうね...

ムン...

ムン...

ニクニク

ニクニク





…え？
ほんとに？

ねえ…
最原くんは
どんなリズムが
好き？
キミの…
好きなリズムで
動いていいよ…



ぎゅっ…！

フッ

じゃあ…
少しずつ
早くして
みよっか



やだ…
恥ずかしい…っ

ほら…
聞こえるでしょ？
僕と赤松さんの
繋がってる音…

めろっ



あっ…

もっと
聴かせてよ…
赤松さんの音…！！

ん…っ！

フクッ

フクッ

めろっ



すごい…最原くんの…
奥まで入ってきて…
気持ちいい…っ

はあ…ああ…
ごめん赤松さん…
もうダメ…イキそ…!!

うん…イこう…
一緒にイこ…っ!

ハァッ♡♡

おん♡♡♡♡♡

おん♡♡♡♡♡

おん♡♡♡♡♡

おん♡♡♡♡♡



あ…あっああっ…
赤松さん…好きだ!

私も…っ!

あ♡♡

あ♡♡

おん♡♡♡♡♡



あっ…あああっ…!!
イク!イクよ!?

ああ…っ!
最原くん…
最原くん…っ!!

あ♡♡

あ♡♡

おん♡♡♡♡♡

おん♡♡♡♡♡

おん♡♡♡♡♡



ああ、じん...
好きだよ...♡

最原くん
最原くん
最原くん...

早く例のカメラを
仕掛けないと...

そうだね

けっこう...
時間
経っちゃったね...





最原くんの
意外な一面も
見れたしね



でも…ほんとに
こんな流れでしちゃって
よかったの？

何言ってるの
全然いいって！

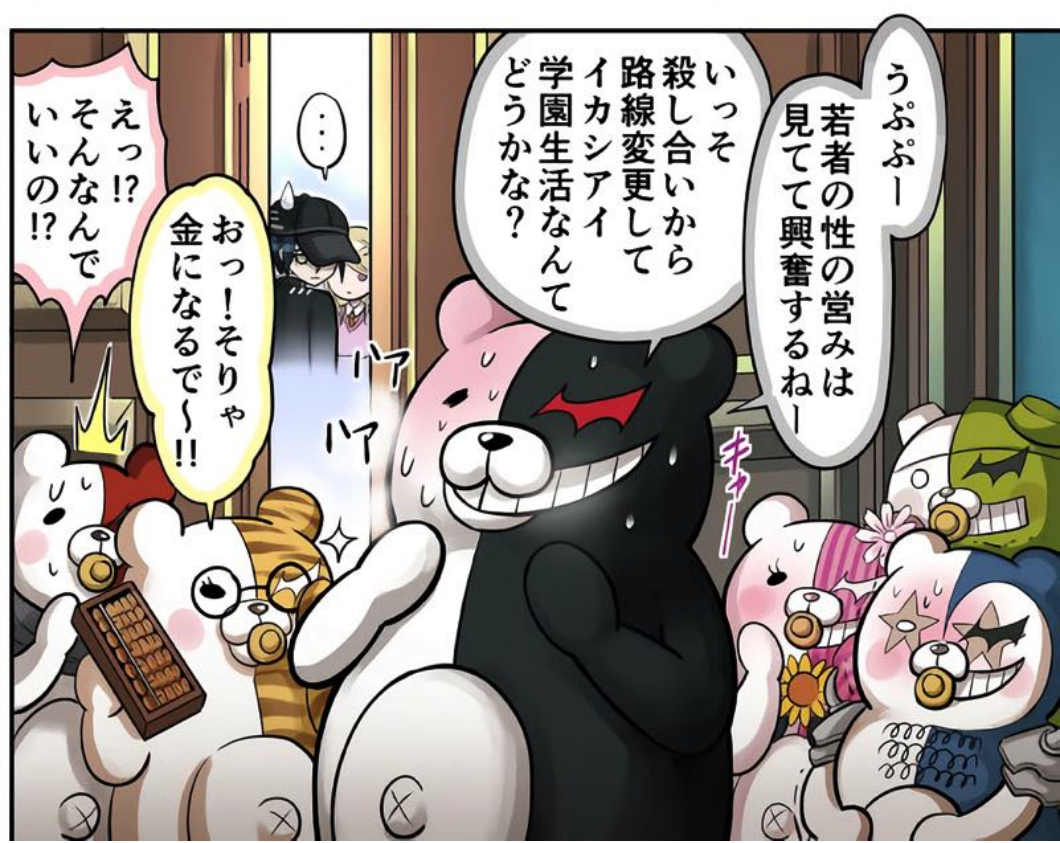


なんか視線を
感じるような…

…？
…どうしたの？



赤松のパンツを
ゲットした！



うぷぷー
若者の性の営みは
見てて興奮するねー

おっ！そりゃ
金になるで〜！！

えっ!?
そんなんで
いいの!?

いっそ
殺し合いから
路線変更して
イカシアイ
学園生活なんて
どうかな？



この漫画は、R-18作品です。

本作のキャラクターのイメージを
損ねる可能性のある表現があります。

また、～だんがん紅鮭団～
までのネタバレが含まれています。

上記の点に注意して、ご覧ください。

※当漫画は、個人が制作した非公式二次創作です。
ダンガンロンパ公式各位とは、一切関係ありません。